

揭示文書

課題名「腸管出血性大腸菌感染症における画像的特徴の多施設共同研究」

1. 研究内容

腸管出血性大腸菌感染症は我が国では 1996 年に集団食中毒として報告されました。その後もしばしば発生し、死亡者も出ている重篤な感染症です。今回、金沢大学放射線科では北陸の協力施設とともに腸管出血性大腸菌感染症とそれによって引き起こされる様々な合併症についての画像を中心とした解析を行い、他の疾患との鑑別に役立て得る特徴的な所見を明らかにすることや、病気の重症度と画像の関係性を明らかにすることによって、今後、発生するかもしれない本症の迅速な診断や治療に役立つことができるように分析を行う。

2. 対象

本年度上半期(2011 年 4 月～9 月)に当院および協力施設(別記)で腸管出血性大腸菌感染と診断された患者さんのうち、画像診断(レントゲン撮影, CT, MRI, 超音波検査)が行われた方を対象とします。

3. 研究の方法

病院で撮影された画像とカルテ情報の調査により画像所見と患者さんの症状や検査値の比較検討を行い、それらの経過も合わせて推移を調査する。

4. プライバシーの保護について

本研究調査を行うにあたっては、患者氏名や患者番号などを取り除いたうえで研究資料として使わせていただきます。協力施設からの資料についても同様に個人の情報を取り除いたものを用いて行います。このような情報を除いたものであっても金沢大学放射線科内の管理者が責任を持って厳重に保管します。集計したデータについては本研究のためのみ使用します。

この研究調査の対象なる方々については、ご協力いただけるか否かについては自由意思です。研究期間は 2013 年 3 月 31 日となっておりますが、ご参加を希望されない場合はお手数ですが、2012 年 9 月 30 日までに金沢大学附属病院放射線科(南 哲弥)までご連絡いただけますようお願いいたします。また、いったん同意なさる意向でご連絡なされていない場合についても研究期間内であればその時点でデータを取り除いた状態で集計報告を行います。

なお、参加を希望なさらない方についても、今後本疾患に関する検査や治療を行う際に不利益となるようなことはありません。

金沢大学医薬保健研究域医学系経血管診療学(金沢大学放射線科)

研究責任者 南 哲弥, 電話 076-265-2323(放射線科医局)

2012 年 12 月